

令和4年(2022年) 8月31日(水) 13953号



## 株式会社 日刊金属

本社 大阪市北区天満2丁目12番地3号  
ヴィレッジリバー南森町3階E号

TEL: 06-6353-7831

FAX: 06-6353-7832

MAIL: metal\_info\_osaka@nikkankinzoku.co.jp

WEB: https://home.nikkankinzoku.co.jp/

購読料 12か月 77,760円 外電配送料 12か月 92,400円  
6か月 38,880円 6か月 46,200円

## 9月の洋白・りん青銅価格を発表

関口富美雄商店

関口富美雄商店は、9月の洋白及びりん青銅価格を発表した。

洋白は、ばね用洋白板が52円引き上げ、洋白板2種は56円引き上げ、洋白線2種が58円引き上げ、快削洋白棒は57円引き上げとなった。

また、りん青銅は、ばね用りん青銅板が41円引き上げ、りん青銅板2種も46円引き上げ、りん青銅線が57円引き上げ、快削りん青銅棒は60円引き上げとなった。

各品種の販売価格は次の通り。

(1kg当たり、◎: プラス、▲: マイナス)

- ◆ばね用洋白板 (C7701P) 3,512円 (◎ 52)
- ◆洋白板2種 (C7521P) 3,376円 (◎ 56)
- ◆洋白線2種 (C7521W) 3,478円 (◎ 58)
- ◆快削洋白棒 (C7941B) 3,837円 (◎ 57)
- ◆ばね用りん青銅板 (C5210P) 3,271円 (◎ 41)
- ◆りん青銅板2種 (C5191P) 2,986円 (◎ 46)
- ◆りん青銅線 (C5191W) 3,257円 (◎ 57)
- ◆快削りん青銅棒 (C5441B) 3,200円 (◎ 60)

## 日刊金属 既刊収録サイト

<https://nikkankinzoku.co.jp/>

## JOGMEC報告

## リチウムの動向 国際会議2022

独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構(細野哲弘理事長)はこのほど、国際会議「Lithium Supply and Battery Raw Materials 2022」(リチウムの供給・バッテリー原材料)の参加報告を公表した。

バンクーバー事務所の佐藤佑美氏と資源開発部技術課の大久保聡氏、赤堀道弘氏の報告。抜粋・要約して紹介する。

この会議は、工業用鉱物・金属の業界誌Fastmarkets社が主催し、リチウムの需給動向や生産技術、新規資源開発プロジェクト、リチウムイオン電池(LIB)材料などに関する動向を主題にしている。

14回目の今回は2022年6月27~29日、米AZ州Phoenixで開催。参加者は前回の2倍近い約650名となり、急増する電気自動車(EV)向け需要に伴うリチウム相場の高騰や原材料確保競争への関心の高まりを強く反映した。新技術としては、依然として、かん水からのDLE(Direct Lithium Extraction: 直接抽出法)が大きな位置を占め、鉱石からの生産技術では低品位リチア雲母からのリチウム化合物精製の発表があった。

## 【リチウムの需給動向】

F社によれば、炭酸リチウム価格(Li 99.5%、CIF中国、日本、韓国)は、2022年6月時点で73US\$/kg台、水酸化リチウム価格(Li 56.5%、CIF中国、日

本、韓国)は75US\$/kg台で推移している。

不可逆的・加速度的に進展するエネルギー・トランジションを背景に、EVバッテリー向けを中心としたリチウム需要は底堅く、依然COVID-19(新型コロナ)による経済不確実性が存在するものの、構造的供給不足は少なくとも今後5年間は継続するとの見方が大勢である。

2023年には新規プロジェクトからの供給増を受けて一時的な調整局面に入ることが予想されるものの、当面は高値圏で推移するとみられている。世界需要を満たすためには、2025年までに少なくとも800千tLCE(炭酸リチウム換算)以上、2030年までにさらに1.3百万tLCE以上の新規供給が必要であると試算する。

一方、生産増強や新規プロジェクト立ち上げの長期化による需給のミスマッチと、それによる自動車OEM各社のEV戦略の見直し、バッテリーの小型化、中長期的代替リスクなどを価格下落要因として考慮する必要があるとパネリストは指摘した。

供給サイドとして、リチウム生産大手の米Albemarle社、チリSQM社は戦略を発表した。

2022年末に生産能力を180千t/年、2023年中に210千t/年まで拡張する計画。特にCarmenの化合物精製工場では新規の水酸化リチウム製造ラインを立ち上げ、2022年末に30千t/年の生産能力とする(SQM)。

引き続き、豪州・チリ・中国といった主要生産拠点を複合させた、資源から化合物までの垂直統合ビジネスを成長させ、2030年までに生産能力を500千t/年まで増強する計画。(次頁へ)

また米国内に保有するSilver Peak塩湖・精製工場、旧Kings Mountain鉱山（現精製工場）といった生産拠点を活かし、米国内バッテリー・サプライチェーン形成に寄与する方針（Albemarle）。

なお、リチウム需要を牽引するEVのLIB向け正極材活物質の傾向に関しては、米Tesla社や一部の大手自動車メーカーがリン酸鉄リチウム（LFP）の採用拡大を進めているところ、関連するパネルディスカッションでは、消費国・地域によってニーズが大きく異なる点に留意が必要であるとの見方が示された。EV調査会社のRho Motive社およびLMC Automotive社によると、2022年現在、xEVバッテリー向け正極材活物質として北米ではニッケル酸リチウム（NCA）、欧州では三元系（NMC）、中国ではLFPが過半数のシェアを占めている。世界的には高ニッケル、高マンガン、低コバルトの傾向にあり、2030年にかけて引き続きNMCが世界需要の5割前後を維持するものの、2022年時点で約25%のシェアを占めるLFP（蓄電システム用途ではシェア過半数を占める）が伸長する可能性も十分であると予測されるため、リチウムは今後も必要とされることが示唆された。

#### 【供給リスク】

EVバッテリー向け需要が急増するなか、リチウムの深刻な供給不足が懸念されているところ、Albemarle社Eric Norris社長は、リチウム生産者は2030年にかけて2~3年ごとに生産量を倍増する必要があると指摘する。リチウム市場調査会社であるiLiMarkets社Daniel Jimenezパートナーは、バッテリーグレードに関しては少なくとも今後10年間の需要は底堅いとしたうえで、新規プロジェクトは生産までのリードタイムが長いことに留意する必要があるとコメントした。

複数のパネルディスカッションでは、中南米における資源ナショナリズムやロシアのウクライナ侵攻といった地政学的緊張の高まり、許認可プロセスの複雑化と長期化、ESG認証対応、さらにはCOVID-19を主



鉛滓・鉛管板屑

株式会社 國樹商店

〒556-0011 本社 大阪市浪速区難波中1-16-8  
電話 06-6649-0045 代表

〒556-0011 工場 大阪市浪速区稲荷1-11-5  
電話 06-6561-7331~2

な要因とするサプライチェーン障害などが供給サイドの主な懸念事項として挙げられた。

また、粘土型鉱床の開発プロジェクトや新技術開発が急がれるなか、このような非在来型プロジェクトが増加するにつれ、スペック認証のタイムラインが長期化することも懸念される。

中南米で高まる資源ナショナリズムに関して問われた社は以下の見解を示した。

（Albemarle社）地政学リスクは確かに存在し、事業戦略に合わせて個別プロジェクトをしっかりと評価する必要があるものの、自動車OEMの世界における野心的なEV生産・販売戦略を鑑みた場合、南米や豪州などのリチウム資源に依存することなしには成功することは難しいと考える。

（SQM社、Albemarle社）チリ政府は国営リチウム会社の設立を目指しているが、CODELCOのように官民が共存するモデルとなることを期待している。当社はステークホルダーとのエンゲージメントは勿論のこと、責任のある持続可能な操業を行っているため、今後5~10年において資源ナショナリズムが重大なリスクになるとは考えていない。

（Livent社）アルゼンチンでは州政府を相手にプロジェクトを進めているため、チリに比べて事業を行い易いと感じる。アルゼンチン州政府はリチウム産業に対して支援的で後退はみられない。

（Ganfeng Lithium社）墨Sonora Lithiumプロジェクトは商業生産実績のない粘土型であることから、メキシコ国民に裨益する事業であると信じている。当社は北米でEV需要が急伸すると考えたことから、他社に先駆けて同プロジェクトに投資した。

発展途上のリチウム業界における供給不足、技術開発不足、人材不足を補うためには、官民にかかわらずサプライチェーン上のあらゆるプレーヤーが連携することが重要である。



非鉄金属全般

銅 岡田商店

代表 岡田兼典

580-0046

大阪府松原市三宅中4-20-14

電話：072（289）8936（代）

ファックス：072（289）8937

地政学リスクに関しては、足元EV生産工場やバッテリー、正極材製造工場などの建設計画が北米および欧州で相次いで発表されているため、今後数年間で下流サプライチェーンにおける中国の影響力は弱まるのではないかと分析する声も複数あった。

#### 【欧米サプライチェーンの域内化と課題】

米中貿易摩擦とCOVID-19パンデミック、それに続くロシアのウクライナ侵攻は、EVサプライチェーンの脆弱性を露わにした。McKinsey & Company社のP.J.Huangマネジメントコンサルタントは、強靱なサプライチェーンの確立を目指す北米と欧州において、自動車OEMとバッテリーメーカーなどとの戦略的連携による生産拠点の域内化が急速に進展している点を指摘。

同社によれば、米国単独でも今後5年以内に新たに13の大規模LIB生産工場（ギガファクトリー）が稼働を開始する予定で、北米全体では既に600GWh以上の建設計画が公表されているという。

欧米では電動化促進政策とは裏腹に、採掘許認可が取得し難いことが課題の一つとなっている。米国では1950年国防生産法の活用により、重要鉱物の国内生産増に向けた方針が発表された一方、環境保護とステークホルダー間の協議を重視するとして、Trump前政権下で承認された許認可の見直しが行われるなど、鉱山会社にとっては厳しい状況が続いていると米投資銀行のアナリストは言及する。

#### 【おわりに】

足下のリチウム市況は、堅調なEV用LIB向けリチウム化合物需要の高まりに下支えされ、高水準で推移している。他方、既存生産施設での拡張計画や、新規生産能力の立ち上げに時間を要しており、供給不足の傾向の解消がいつになるか不透明である。

2021年来の好調なリチウム市況を映して活発な探鉱プロジェクト紹介があったが、ステージが浅く詳細不明なものが多いため、投資には慎重さを要する。とりわけ、かん水の新規プロジェクトの立ち上げにはDLE

電気亜鉛・蒸留亜鉛販売  
亜鉛ドロス・滓買入

## 大阪亜鉛工業株式会社

取締役社長 林 昭宏

本社・工場 〒555-0001 大阪市西淀川区佃 4-14-3  
電話 06-6471-2531~5  
FAX 06-6471-5781

東京営業所 〒131-0043 東京都墨田区立花 2-4-5  
電話 03-3618-2351~2

がカギとなると考えられ、今回の会議でもDLEに関する発表が目立ったものの、真新しい技術はなかった印象である。

LIBリサイクルについても活発な議論があったが、LIBリサイクルについては現状では、リチウムの回収が十分進んでいないこと、精錬処理能力の不足といった問題だけでなく、効率的かつ安全な廃LIB集荷システムの構築といった課題があることにも注意が必要である。

また、2020年、2021年にも増して、リチウム生産におけるESG対応や北米・欧州といった消費地域内で完結するサプライチェーン形成の重要性が強調されているように感じた。リチウムメジャーは、ESGが事業を評価する上での重要な規範になりつつあることを認めつつも、ESGという概念自体が未成熟であることから、いかに消費者の期待に応えるかが課題であるとした。また、域内サプライチェーンの構築に関しては、自動車OEMの野心的な目標の達成のためには、南米・豪州のリチウム資源への依存は避けられず、引き続き重要な投資先であるとの見方も示された。

LIBにはリチウム化合物は必須の材料であり、リチウム価格の高騰がユーザーのリチウム離れを生む様なことは、コバルトの場合とは異なり起こらないと考えられる。しかし、リチウムの供給不足や価格高騰の継続が、EV化の足かせになることもあり得る。そのような中でNa電池・空気電池といったリチウムを用いない電池の開発も進みつつある。

# 鉛屑・半田屑

## 雨滝商事株式会社

広陵リサイクルセンター

代表取締役 雨瀧 卓

奈良県葛城郡広陵町大字三吉 27-1  
TEL/FAX (0745)60-1613 携帯 090-2115-4918

# 高価買取ります

非鉄金属全般・金属リサイクル  
新棒コロ・砲金・銅滓

## 株式会社 高田商店

代表取締役 高田 晋善

〒544-0001 大阪市生野区新今里 7-10-26  
TEL06-6753-1643 Fax06-6753-4545



豪：Allkem社、2021/22年度の正味利益は337.2mUS\$と前年度から大きく改善

2022年8月25日付けの地元メディアによると、豪Allkem社（2021年11月にOrocobre社から社名変更）は、2021/22年度の業績が、税引後純利益337.2mUS\$となり、前年度における89.5mUS\$の損失計上から大きく改善した。

Allkemはこの理由として、同社が2021年8月に豪Galaxy Resources社と合併して取得したWA州Mt Cattlinリチウム鉱山における税引後純利益が197.7mUS\$となったことや、アルゼンチンOlarozリチウム鉱山の正味利益が前年度損失額90.3mUS\$から大幅に改善して96.1mUS\$となったことなどを挙げている。

Mt Cattlinリチウム鉱山は2021年初頭にフル操業を再開した。2021/22年度のリシア輝石精鉱生産量は194千dmtと、2010年に同鉱山の操業が開始されて以来の最高水準に達している。

また同社は同鉱山に関し、JORC規定に準拠する鉱物資源量を13.3百万t（品位：Li2O 1.2%、Ta2O5 131ppm）と前回計上値から21%上方修正した。

しかし、2022/23年度におけるリシア輝石精鉱生産量には人手不足が継続していることや剥土の作業が遅延していることなどを理由に、前回予測の160~170千tから140~150千tに下方修正した。



ペルー：Espinar郡住民、Antapaccay銅鉱山基金を財源とする給付金を要求

2022年8月24日付け現地紙によると、同年8月22日Cusco州Espinar郡では、Glencore Antapaccay社と同郡の間に存在するEspinar枠組協定とその基金を財源とする2,000PEN（ソーレス）の給付等を要求する住民グループが、南部鉱物輸送道の封鎖を開始した。

Espinar防衛前線のHuamani代表によれば、道路封鎖によってMMG Las Bambas社、Hudbay社、Glencore Antapaccay社の操業鉱山のトラックだけでなく、Panoro銅プロジェクトやHaquira銅プロジェクト（共にApurimac州）の車両通行も阻んでいる。

さらに、住民側は給付金だけでなく、長年の懸案事項であるEspinar枠組協定の見直しや、Espinar郡自治体内の汚職への対応を中央政府に要求しているとし、今後抗議行動を南部鉱物輸送道（Cusco州Chumbivilcas郡やApurimac州Challhuahuacho郡）に拡大する方針であるとコメントした。

# 故銅・銅滓 アルミ原料

高価即金買入

——ご照会を乞う。

## 森下商店

大阪市西成区南津守 7-12-46

TEL (06)6659-5577~8

FAX (06)6659-5579

銅・非鉄原料は

ホームページはこちら▶  
[www.kimura-metal.co.jp](http://www.kimura-metal.co.jp)

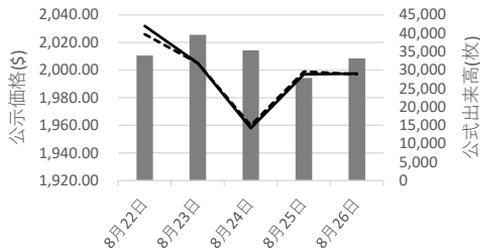
QRコード

木村金属株式会社  
06-6552-7840

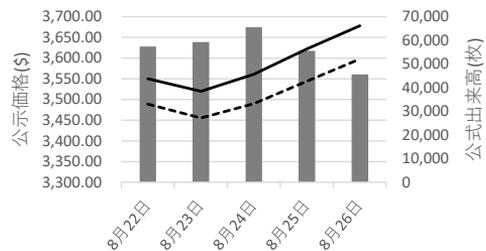
大阪市大正区

~LME公式値週間推移 8月22日~8月26日(現地)

LME鉛



LME亜鉛SHG



出来高 直物 先物

出来高 直物 先物

## 故銅市況

30日朝入電の海外相場は、LME(ロンドン金属取引所)がバンクホリデーの休日で休場。

COMEX(ニューヨーク商品取引所)銅相場の9月限は、前営業日の369.70セントより8.50セント安の361.20セント。SHFE(上海期貨交易所)銅相場の10月限は、前営業日の6万3,340元より40元高の6万3,380元。

30日の東京為替市場TTSレートは、前日の139.43円より0.23円の円安ドル高、1ドル=139.57円。27日に入電した直近のLME銅相場直物前場売値は8,315.00ドル。この値と30日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値は、前日119万6,000より2,000円高の119万8,000円。

この日、電気銅建値は117万円に据え置かれた。

### 為替動向

29日のニューヨーク外国為替市場で円相場は続落した。前週末と比べ1.10円の円安ドル高、1ドル=138.70円~138.80円で取引を終えた。

前週末、ジャクソンホール会議での講演でFRBのバ

### 故銅直納間屋筋の平均値頃感 (単位は千円)

(8月26日更新)

直納間屋筋によるロット物(5トン前後)の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が902~907、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは867~872、並銅は832~842、込銅(高品位=約97%)は822、セバは706~711。コーペルは要り用筋で647、それ以外は632ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋657、それ以外627~637どころの値頃。並青銅鋳物削粉は728~733どころ。

小口市中相場(1トン前後)では、ピカ線が882~902、上銅新くずが847~867、普通上銅が822~842、2号銅線が814~834、並銅が812~832、込銅(94-97%)が760、込銅(90-93%)が762、下銅が431~481、セバが671~706、コーペルが587~632、黄銅棒地が582~627、黄銅削粉が577~622、黄銅ラジが542~550、交叉ラジが474~531、黄銅銅鋳物が475~482、送りが267~286、上青銅鋳物が725~745、並青銅鋳物が705~720、上青銅鋳物削粉が720~740、並青銅鋳物削粉が695~715どころ。

### アルミ二次合金メーカー買値実勢値

(1トン程度・置場・現金・キロ当たり円)

#### 関東地区(8月後半)

2S=215円~235円、63S=199円~250円、アルミホイール(1P)=111円~225円、ビス付サッシ=77円~86円、エンジンコロ=100円~108円、込合金(機械鋳物)=83円~91円、缶プレス(ソフト)=56円~66円。

#### 関西地区(8月後半)

2S=197円~200円、63S=200円~235円、印刷版=190円~193円、アルミホイール(1P)=176円~186円、ベースメタル=144円~148円、機械鋳物=86円~89円、ダライ粉=65円~68円、ビス付サッシ=83円~98円、缶プレス=73円~78円。

ウエル議長がインフレ抑制について「やり遂げるまでやり続けなければならない」と述べるなど、FRBの積極的な利上げ継続姿勢が示され、金融引き締めが想定よりも長期化するとの観測が市場に広がった。金融緩和を続ける日銀と物価の安定を最優先事項とするFRBとの間での政策相違が円売りドル買いを促した。ニューヨーク市場のユーロは対ドルで反発。前週末と比べ0.0030ドルのユーロ高ドル安、1ユーロ=0.9990ドル~1.0000ドルで終えた。足元でユーロ安ドル高が急速に進んだ反動からユーロに買い戻しが入った。

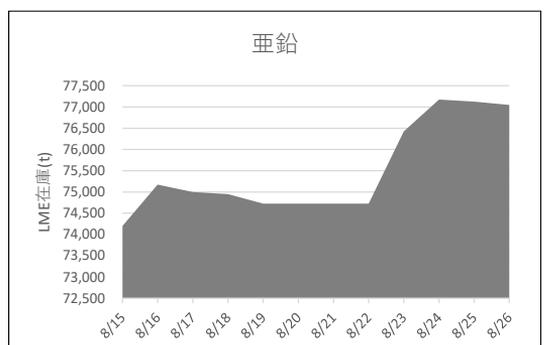
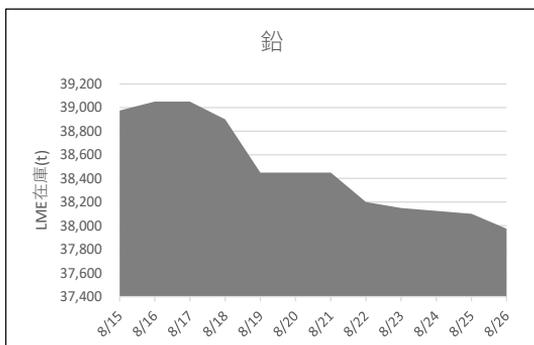
30日早朝の東京外国為替市場で円相場は小幅に下落。8時30分、前日17時と比べ0.01円の円安ドル、1ドル=138.70円~138.72円で推移した。26日のパウエルFRB議長の講演を受け29日の米長期金利は一時3.13%と2か月ぶりの高水準を付けた。一方、同日の東京外国為替市場は139.00円と7月中旬以来となる円安ドル高水準だった。このことで持ち高調整などを目的とした円買いドル売りも入った。日米の金利差拡大を意識した円売りドル買いはやや一服。前日に急ピッチで円安が進んだこともあり円買いも入り易かった。

円は対ユーロでも下落。同じく0.81円の円安ユーロ高、1ユーロ=138.70円~138.74円で推移した。ECBが利上げを加速するとの観測は根強くユーロ買いが優勢となった。

<https://nikkankinzoku.co.jp/>

PW: KINZOKU2208

### LME認定倉庫在庫推移 8月15日~8月26日(現地)



海外非鉄金属相場

(8月30日 入電・現地 8月29日)

1ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns for metal types (銅AG, 錫HG, 鉛, 亜鉛SHG, アルミHG, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル) and rows for current prices, previous day prices, and high/low prices.

Table for NY Comex market (NY コメックス相場) showing prices for Gold, Silver, Platinum, and Palladium with various contract terms.

Table for LME (LME (円ベース/キロ)) showing prices for Copper, Tin, Lead, Zinc, Aluminum, and Nickel.

Large table for Free Market (フリー・マーケット) including US Producer Prices (米国生産者価格), London Market (ロンドン相場), LME Inventory (LME在庫), Shanghai Inventory (上海在庫), LME Pre-market (LMEプレマーケット), and Shanghai Market (上海相場).

Table for Comex and Shanghai prices (COMEX, 上海) showing prices for Copper, Tin, Lead, Zinc, Aluminum, and Nickel.

非鉄金属製品相場

(8月30日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京	電線 (現場納め 定尺 関西地区 大口~小口)
銅小板2.0ミリ	1480	1415	亜鉛板0.3×3×7	620	620	V V F
建築用0.3ミリ	1530	1465	印刷用亜鉛板トッパン用	790	790	2C×1.6 55~57
銅大板2×1×2	1610	1615	給水管13ミリ	300	300	2C×2.0 98~101
銅管(ベース)	1600	1615	鉛板1.5ミリ	555	555	3C×1.6 102~105
水道用管(m当たり)13ミリ	1510	1525	鉛線3ミリ	450	450	3C×2.0 149~152
銅棒25ミリ	1390	1385	軽圧品	大阪	東京	I V
銅条1.5×100	1445	1430	アルミ箔0.007ミリ	1105	1065	1.6mm 30.5~32.4
銅線0.9ミリ	1470	1445	〃 小板1ミリ	740	695	5.5sq 83.8~89.1
銅帯6×50	1400	1385	〃 大板1ミリ	720	685	14sq 207~220
銅平角線	1670	1615	〃 5052板	775	735	CV-T
黄銅小板2.0ミリ	1275	1255	〃 6061板	1325	1285	600V 3C×38 1580~1376
〃 0.3ミリ	1305	1285	〃 2017板	1230	1295	600V 3C×60 2430~2585
黄銅大板2×1×2	1425	1435	〃 線3ミリ	725	685	600V 3C×100 4082~4340
黄銅管	1700	1740	〃 快削棒50ミリ	940	900	6kV 3C×38 2566~2723
復水器用黄銅管	1670	1710	〃 合金棒50ミリ(17S)	925	880	6kV 3C×60 3572~3791
黄銅棒快削25ミリ	1045	1090	〃 合金棒50ミリ(56S)	880	840	CVV (関西~関東)
六角棒	1075	1120	貴金属(一般小口向け)			3C×2 125-128
四角棒	1105	1150	白金(グラム)		◎ 4308	4C×2 168-172
鍛造用	1085	1130	パラジウム(グラム)		◆ 10780	6C×2 237-243
ネーバル	1185	1230	金(グラム)		◎ 8572	7C×2 271-278
高力	1185	1230	銀(キログラム)		◎ 95810	合金鉄 7月輸入単価 (CIF)
黄銅線6ミリ	1450	1440	レアメタル輸入価格	7月通関 (CIF)		フェロマンガ2%以上炭素含有 ◆ 274
黄銅平角線ロール仕上	1650	1650	金属ケイ素(99.99%未満)	◆ 470		〃 その他 ◆ 367.2
黄銅条1.5×100	1270	1275	モリブデン酸化物	◆ 3929		フェロシリコン55%以上 ◎ 344
リン青銅板一般用1.0ミリ	◎ 2520	◎ 2710	タンタル	◎ 62949		フェロクロム4%以上炭素含有 ◎ 317.3
〃 バネ用0.3ミリ	◎ 2770	◎ 2970	マグネシウム	◆ 574		フェロモリブデン純分60%以上 ◆ 4007
リン青銅棒25ミリ	◎ 2680	◎ 2890	コバルト	◎ 11130		フェロバナジウム ◆ 4218
リン青銅線3ミリ	◎ 2980	◎ 3190	インジウム	◎ 29633		フェロニッケル33%未満 ◎ 995.7
洋白板一般用1.0ミリ	◎ 3530	◎ 3680				電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ 326
〃 バネ用1.0ミリ	◎ 3700	◎ 3860				

減摩合金	8月16日改定	銅合金地金	8月1日発表
(500kg以上、大口価格)		(標準価格)	大阪
1種	4590	BC 1種	1210
2種	4465	2種	1530
3種	4335	3種	1615
4種	3810	6種	1295
5種	3635	7種	1425
7種	1330	YBSC 3種	1085
8種	1170	LBC 3種	1560
9種	1000	PBC 2種	1635



非鉄金属材料相場

キロ当たり円		◎上げ ◆下げ		(8月30日調べ)		インジウム大口~小口(99.99%)		41,000 ~ 43,000(1)	
非鉄原料 (炉前材)		大 阪 仲間相場	東 京 仲間相場	地 金		大 阪 仲間相場	東 京 仲間相場		
1トン以上外税持込						高値	安値	高値	安値
1 号 銅 線	1050	1047	電 気 銅	◆1117	◆1112	◆1119	◆1114	山元建値 電気銅 1170(26)	金 7,763(30)
2 号 銅 線	1008	—	電 気 亜 鉛	530	524	530	524	( ) 実施日 電気鉛 339(23)	銀 85,160(30)
上 銅 ( 新 切 )	1021	1014	蒸 留 亜 鉛	518	512	518	512	電気亜鉛 559(26)	錫(99.99%) 4,800(1)
雑 ナ ゲ ッ ト	880	878	再生ダイカスト亜鉛2種	449	443	449	443		
並 銅	963	943	再 生 亜 鉛 (98%)	392	386	392	386		
下 銅	944	914	電 気 鉛	311	308	311	308		
銅 削 粉	938	917	再 生 鉛 1 号	294	284	292	287		
銅 さ い (30%)	25	25	再 生 鉛 3 号	299	295	297	293		
新 切 黄 銅 セ バ	829	825	錫 1 号	3600	3550	3600	3550		
コ ー ペ ル	796	783	ア ン チ モ ン	1950	1900	1950	1900		
黄 銅 棒 地	780	771	ニ ッ ケ ル (メ ッ キ 用)	3150	3100	3150	3100		
黄 銅 削 粉	774	767	コ バ ル ト	8200	7900	8200	7900		
並 黄 銅	627	639	セ レ ニ ウ ム	2900	2700	2900	2700		
黄 銅 ラ ジ エ タ ー	600	584	ビ ス マ ス	1350	1250	1350	1250		
交 叉 ラ ジ エ タ ー	578	597	カ ド ミ ウ ム	600	550	600	550		
黄 銅 鋳 物	632	—	マ グ ネ シ ウ ム 合 金	500	480	500	480		
山 送 り (55%)	355	—	ア ル ミ 地 金 99.70 %	◎394	◎390	◎396	◎392		
上 青 銅 鋳 物	814	—	ア ル ミ 二 次 地 金 99 %	305	300	305	300		
並 青 銅 鋳 物	812	791	〃 90 %	263	258	263	258		
上 青 銅 鋳 物 削 粉	807	—	ア ル ミ 二 次 合 金 ADC12	417	412	420	415		
並 青 銅 鋳 物 削 粉	797	779	鋳 物 用 C2BS	442	437	444	439		
新 切 リ ン 青 銅 (伸 銅)	—	1037	青 銅 合 金 地 金 3 種	1590	1580	1640	1630		
〃 ( 鋳 物 )	928	—	〃 6 種	1280	1270	1320	1310		
リ ン 青 銅 削 粉	846	827	ハ ン ダ 錫 60 %	3030	2990	3050	3020		
新 切 洋 白 (電 子 材)	858	834	〃 50 %	2620	2570	2640	2610		
新 切 亜 鉛	278	278	〃 40 %	2270	2210	2225	2195		
ダ イ カ ス ト く ず	243	243	減 摩 合 金 2 種	4430	4400	4435	4405		
亜 鉛 ド ロ ス	221	232	〃 4 種	3775	3750	3780	3750		
上 鉛	142	140	〃 7 種	1310	1260	1310	1260		
電 池 素 鉛 ケ ー ス 込	25	25	ス テ ン レ ス ・ 特 金	18-8スステンレス 新切		75	75		
活 字 鉛	127	124		〃 ダライ粉		60	60		
新 切 ア ル ミ 1 級	237	239		高耐食ステンレスSUS316		210	210		
新 切 サ ッ シ 1 級	237	237		耐熱ステンレスSUS310		365	365		
新 切 合 金 1 級	222	217		13クローム 新切		17	24		
機 械 鋳 物 1 級	150	155		ハイス 9種		220	220		
ピ ス 付 サ ッ シ P	173	170							
合 金 削 粉 P	95	100							
込 ガ ラ P	90	92							
カ ン ・ バ ラ	160	161							



非鉄金属材料相場面  
PW:KINZOKU2208